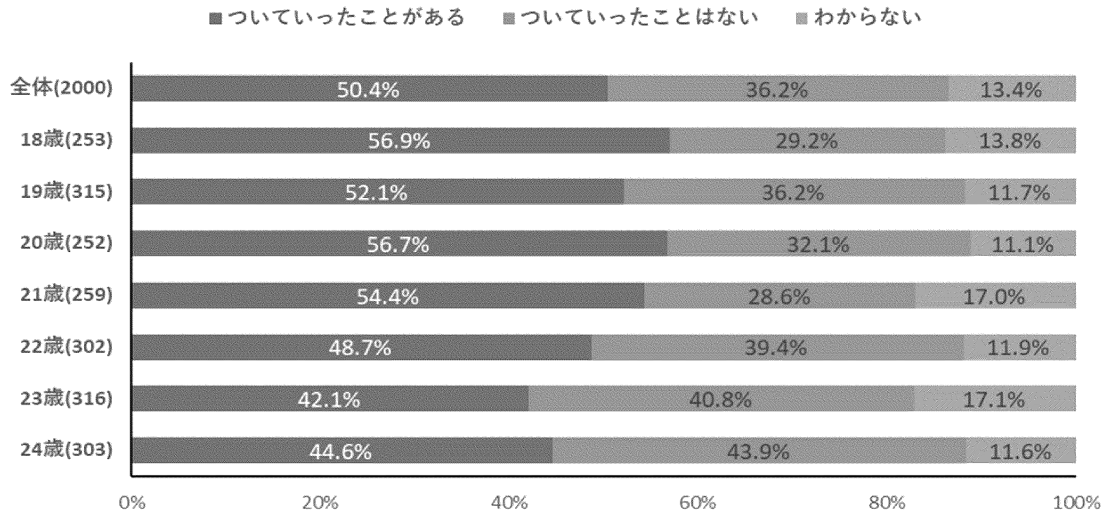


第25回参議院議員通常選挙における若年層の意識調査について(令和元年8月)[抜粋]
 (公益財団法人 明るい選挙推進協会 調査)

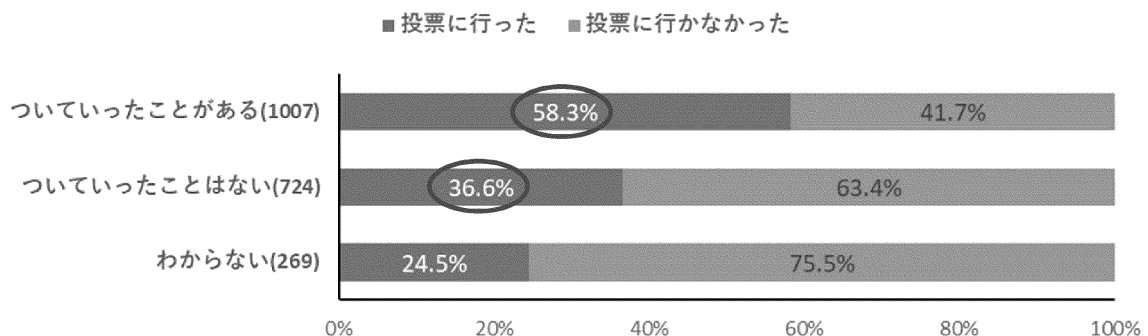
⑬ あなたは子供のころ、親御さんの投票についていったことがありますか。

調査対象者全員に尋ねた。全体で 50.4%の人が親と投票に行ったことが「ある」と回答した(前回は 43.4%があると回答)。



親と投票に行った経験のある人とない人に分けて今回の参院選での投票行動を見てみると、「ついていったことがある」人(58.3%)は「ついていったことはない」人(36.6%)より「投票に行った」と回答した割合が20ポイント以上高い。前回の調査でも同様の結果がみられたことから、幼少期等の体験が有権者となってからの投票行動に一定の影響を及ぼしていると考える。

(前回は「ついていったことがある」人のうち 67.3%の方が、「ついていったことはない」人では 44.8%が投票に行ったと回答した。)



中学3年生 1,111名に聞いた「選挙や政治に関する意識調査」 【キッザニア調べ】

【調査概要】

■実査期間：2016年4月19日～5月18日

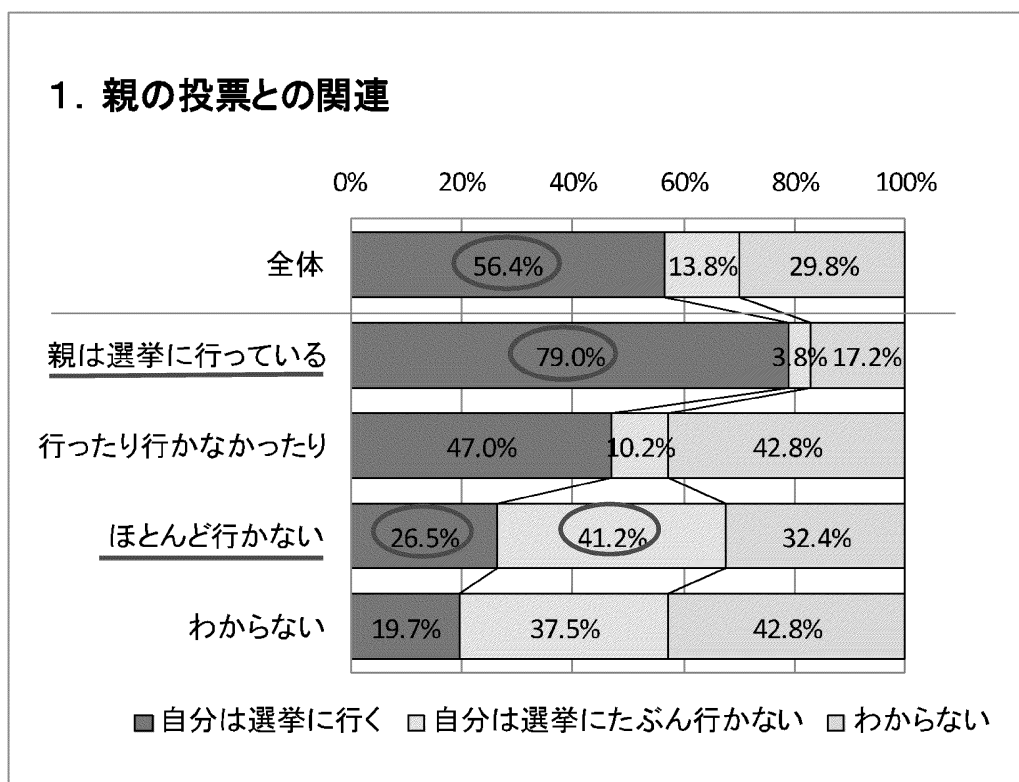
■調査手法：「キッザニア東京」「キッザニア甲子園」に団体来場実績のある中学校を通じ、
質問紙による無記名自記入式調査

■調査対象：中学3年生 1,111名(国公立9校)

※中学校所在地は、北海道、東北、関東、中部、関西、九州・沖縄

■監修：東京学芸大学教育学部 松川誠一教授

Q. 18歳になったら選挙に行く？



北九州ドリームサミットについて

○北九州ドリームサミットとは

次世代の主役である若きリーダー候補者たちに、我がまちや日本に対する思い・理想などを真剣に考え、議論し、夢を現実できる場所を提供するとの思いで、平成17年より（社）北九州青年会議所が毎年行っている事業。

参加した中学生らが、自分たちで何が出来るかを考え、自らが主体となってこのまちのために様々な活動を行っている。

○北九州ドリームサミットの主な活動

平成17年 『中学生会議の創設』

市内各中学校の代表が集い、中学生会議（北九州ドリームサミット）を創立。議会制民主主義について学び、このまちの未来についての議論を行った。そこで出された様々な意見を、本会議の場で市政に発信。それらの意見を集約した「KDS 議員宣言文」を採択した。

平成18年 『中学生条例の制定』

「KDS 議員宣言文」にある3つのテーマ「地域」「環境」「国際」について、自分達には何が出来るのか、体験会、ワークショップを行った。それらの経験を基に、市内中学生の活動指針となる「北九州中学生条例」を策定、本会議にて全会一致で採択した。

平成20年 『北九州市民自治条例案提言』

中学生会議（北九州ドリームサミット）で受け継がれた思い、中学生議員たちの声であるこのまちの持つべき理念を、市議会棟を使用しての会議により市民自治条例案を北九州市へ提言。

平成28年 『未来へ向けて！』

市議会棟にて活動報告を行い、活動を通じて理解することのできたこの街の問題点や改善点、更にはこの街の未来へ向けて北九州市政へ提言を行った。

NPO法人との連携事例について

・概要

NPO法人 NEXT CONEXION

シティズンシップ教育を通して人々の交流を促進し、それを人々の社会参加や地域活性化につなげ、より良い社会の形成に寄与することを目的に、平成24年に愛媛県松山市に設立(26年NPO法人化)。弁護士、愛媛大講師、学生など17人で活動している。

〈松山市選管との連携〉

松山市選管とは選挙啓発活動において協力関係にあり、27年の愛媛県知事・松山市長同日選挙の際に、子どもたちが中心となった選挙啓発活動を実施した。また子どもたちと一緒に投票所へ行くツアーも実施した。

・実施された主な取組み

〈civic-10歳からのシティズンシップ教育〉

子どもたちの自主性・協調性・想像力を育むことを目的に、世の中の仕組みに関心を持たせ、世の中への参画意識を育てる教育プログラム。具体には「もしも自分の町で震災が起こったら何ができるか」をテーマに、震災マップを作成したり、街づくりボードゲームを使用して「理想の街」を考えるなどで、これまでの5年間で30回以上実施し、のべ400人の児童生徒が参加した。

〈高校での共同プログラム〉

松山市の私立聖カタリナ女子高等学校と共同で、高校3年生を対象にシティズンシップ教育を実施している。週に2回の政治経済の時間を使い、ワークショップ形式の授業と、教科書を使った授業を実施している。ワークショップ形式のテーマは「18歳選挙権を基に、子どもはいつから大人になるのか」や「大きな政府、小さな政府」などで、市選管をゲストに模擬投票なども行っている。

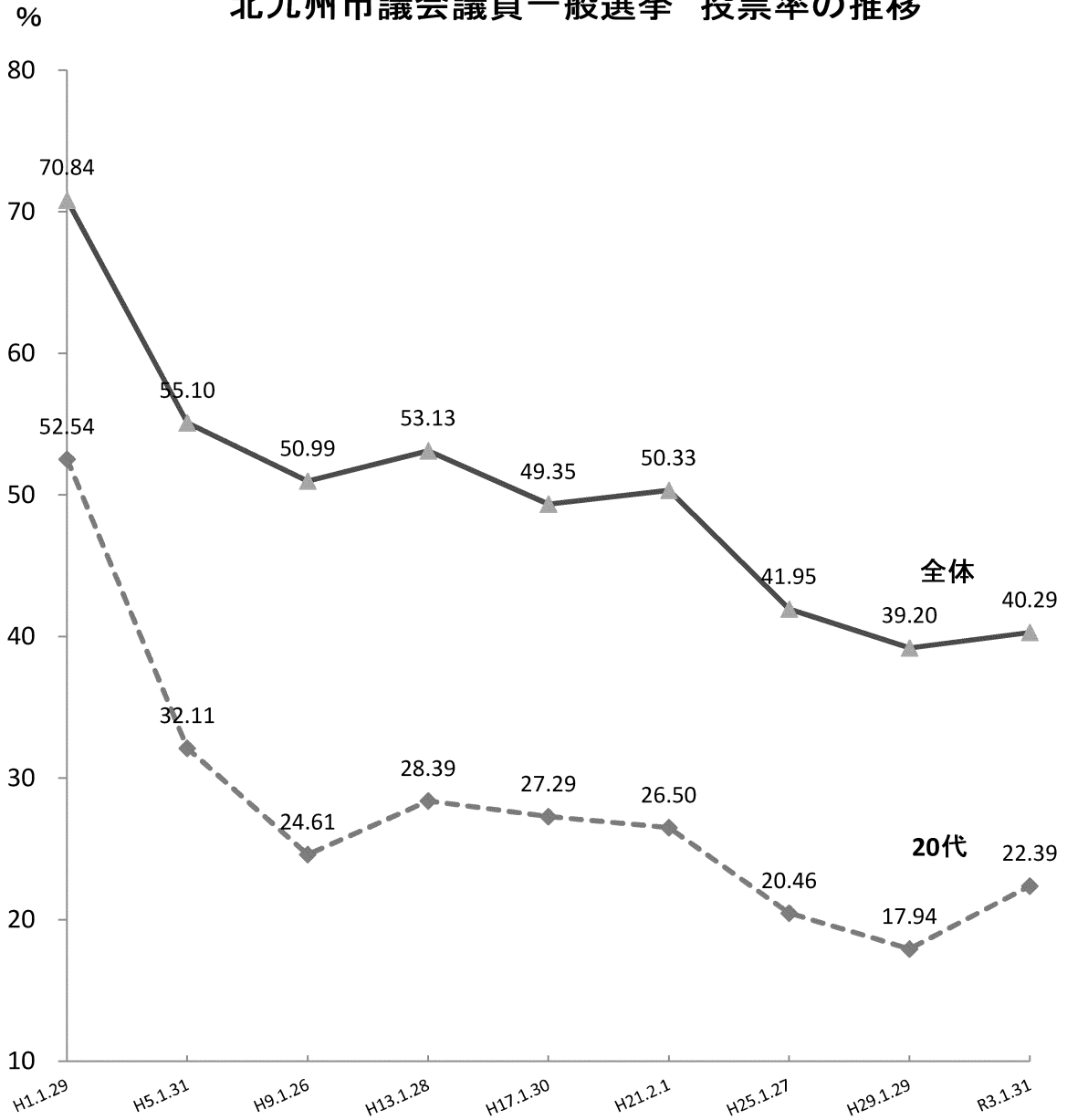
〈Voters Barの実施〉

NPO法人 YouthCreate の協力のもと、若者が政治家と気軽に語り合う Voters Bar を実施している。ゲストとして、愛媛県議・松山市議などの地方議員が参加した。参加者は中学生から社会人まで幅広く、世代間交流の場ともなっている。

〈E-NEXT-高校・大学生の学びあいの場〉

高校・大学生を中心とした、シティズンシップ教育に関する学びあいプログラムを実施している。自分という「個人」から世の中を考える、をテーマに、実際に社会で活躍されている社会人の方を招き、意見交換などを行っている。

北九州市議会議員一般選挙 投票率の推移



北九州市議会議員一般選挙 投票率の推移 (%)

選挙期日	20代	全体
平成1年1月29日	52.54	70.84
平成5年1月31日	32.11	55.10
平成9年1月26日	24.61	50.99
平成13年1月28日	28.39	53.13
平成17年1月30日	27.29	49.35
平成21年2月1日	26.50	50.33
平成25年1月27日	20.46	41.95
平成29年1月29日	17.94	39.20
令和3年1月31日	22.39	40.29

※標準的な投票所を抽出